

名古屋

ポートガイド

Nagoya Port Guide



●名古屋

観光情報は、こちら！

公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー
電話052-202-1143 (土日祝休業)
<http://www.nagoya-info.jp/>

〈観光案内所〉
名古屋市名古屋駅観光案内所
電話052-541-4301

名古屋市金山観光案内所
電話052-323-0161

オアシス21iセンター
電話052-963-5252

〈メーグルについて〉
名古屋市交通局浄心営業所
電話052-521-8990

市バス・地下鉄テレホンセンター
電話052-522-0111

名古屋市市民経済局観光推進室
電話052-972-2425 (土日祝休業)

船舶代理店

有限会社カイセイマリタイムエージェンシー
電話052-652-5931



名古屋城

日本のほぼ中央に位置する名古屋港は、総取扱貨物量が13年連続で日本一であることをご存知でしょうか。製造品出荷額日本一の愛知県をはじめとするこの地域には、自動車、工作機械、セラミックス、航空宇宙産業などの世界的なモノづくり産業が集積しています。

このモノづくりのルーツは古く江戸時代にさかのぼります。東西交通の要衝という地理的条件、豊かな土地と水、地域経済の発展。こうした地域の特性の中で育まれたやきものや綿織物などの地場産業、尾張徳川家を支えた和時計やからくりなどの職人たちの伝統技術が、明治維新を経て西洋技術を取り入れることにより近代産業へと発展し、日本の未来を導くモノづくり産業として今なお発展を続けており、名古屋のまちには、その発展を支えた貴重な産業の遺産や伝統が残されています。

また、恵まれた気候風土がもたらす豊富な食材、おいしい味を求める探究心は、独自の食文化へとつながりました。味噌煮込み、味噌カツ、ひつまぶし、手羽先、あんかけスパなど

は、「名古屋めし」の代表であり、全国的に知られるようになっていきます。

名古屋城や徳川美術館、熱田神宮などに代表される「歴史・武家文化」、産業技術記念館やリニア・鉄道館などモノづくりの心に触れることができる「産業観光」、ショッピングやグルメ、プラネタリウムや水族館など「都市のアミューズメント」が楽しめる名古屋。

そんな名古屋での観光が初めての方はまず「観光ルートバスメーグル」を利用するのが便利です。船が接岸する金城ふ頭の「金城ふ頭駅」から「名古屋駅」まではあおなみ線で24分。その「名古屋駅」からゴールドの車体のオリジナルバス（運行の都合上、変更となる場合もあります）が出発し、名古屋城や徳川美術館、テレビ塔など中心部の観光スポットをめぐることができます（月曜日運休）。また、市内を走る地下鉄やバスも、一日乗車券を利用すればお得に市内を回ることができます（バス・地下鉄全線一日乗車券、バス全線一日乗車券はメーグルでもご利用いただけますが、あおなみ線はご乗車できません）。



① 名古屋城

1612年(慶長17年)、徳川家康の子義直の居城として築城されましたが戦災で焼失。1959年(昭和34年)、名古屋城のシンボルともいえる金の鯨(約88kg(18金)の金板を使用)をいただく五層の小天守閣(約48m)と小天守閣(約24m)が再建されました。また、現在、本丸御殿の復元工事(平成30年完成予定)が進められており、月・水・金・土・日・祝日は工事の様子が真近に見られとともに、城門では武将隊ブームのさきがけとなった「名古屋おもてなし武将隊」が毎日お出迎えてくれます。

② 徳川美術館

尾張徳川家第19代当主、侯爵徳川義親の寄贈にもとづき、尾張徳川家に伝えられた数々の重宝いわゆる「大名道具」をそっくりそのまま収め、展示・公開している他に例を見ない美術館。収蔵品は徳川家康の遺品を中心に、初代義直以下代々の遺愛品や、その家族が実際に使用した物ばかり1万数千件余りにおよびます。

また美術館は、池泉回遊式の日本庭園として整備された徳川園内に立地しており、大名庭園の「荘厳さ」を大観できるとともに、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しむことができます。

③ 名古屋港水族館

日本から南極へ至る5つの水域「南極への旅」をテーマとして約500種5万点生き

物を展示する南館と、「35億年ほかなる旅～再び海へもどった動物たち～」をテーマとし、進化の過程で海中生活に適應していったシャチやベルーガなどの海洋哺乳動物を展示する北館で構成されています。中でも日本の海・黒潮水槽で行われる35,000匹のマイワシの一斉給餌「マイワシのトルネード」はとても神秘的です。また、約3,000人収容のスタンドを設置した世界最大級のメインプールでは、イルカのダイナミックなパフォーマンスをお楽しみいただけます。

④ トヨタ産業技術記念館

トヨタグループ発祥の地に残されていた大正時代の工場(豊田自動織機製作所栄生工場)を、貴重な産業遺産として保存・活用した博物館。館内は「繊維機械館」「自動車館」からなり、近代日本の発展を支えた基幹産業の一つである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷が、本物の機械の動態展示やオペレーターによる実演で分かりやすく紹介されています。また、ミュージアムショップや、レストラン、カフェ、図書室もあり、一日楽しむことができます。

⑤ 大須商店街

年齢性別国籍を問わずアンダーグラウンドなものからメジャーなものまで、さまざまな店舗が「ごった煮」の様な雰囲気立ち並ぶ大須の街。日本三大電気街の一つでしたが、現在では秋葉原など同様に

オタク街としての性格を強めており、2003年から開催されている世界コスプレサミットでは、世界中のコスプレイヤーたちが集結します。また、老若男女問わず、安価な洋服やおしゃれ小物、古着を求める人々が多く訪れるファッションの街でもあります。

⑥ 名古屋市科学館

2011年3月、世界最大のプラネタリウムとしてギネス世界記録に認定されている「BrotherEarth」を備えた新館がオープン。ドームの球体を強調した外観デザインに加え、マイナス30度の部屋でオーロラ映像を体験できる装置や、高さ9mの人工竜巻を体験できる装置など、エンターテインメント性豊かな四つの大型展示も設置されています。また、太陽光発電や壁面緑化、制震構造やエレベーター構造の可視化を図るなど、建物自体が展示装置となっています。

⑦ リニア・鉄道館

最寄りの「金城ふ頭駅」から徒歩約2分。世界最高速度を記録した3つの車両をシンボルに、歴代の新幹線、在来線、超電導リニアなど39両の実物車両の展示を通して「高速鉄道技術の進歩」が紹介されています。また、日本最大級の鉄道ジオラマや新幹線をはじめとする各種シミュレータなどもあり、子供から大人まで鉄道のしくみや発展の歴史を楽しみながら学ぶことができます。時代を駆け抜けたホンモノだけが持つ迫力、存在感をお楽しみください。

港までの所要時間

JR「名古屋駅」より

- あおなみ線利用で「金城ふ頭駅」まで電車で24分、「金城ふ頭駅」から岸壁まで徒歩10分
- タクシー利用で約40分

中部国際空港「セントレア」より

- 名古屋鉄道（ミュースカイ）利用で「名古屋駅」まで最速28分、「名古屋駅」からあおなみ線利用（24分）で計約1時間
- タクシー利用で約40分

※所要時間はあくまで目安となります。渋滞等交通事情により、差異を生ずることがありますのでご了承ください。

埠頭所在地

〒455-0804 愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目地先 ※ターミナルはございません。

名古屋

おすすめグルメガイド

東京とも大阪とも異なった、独自の価値観の中ではぐくまれた「名古屋めし」は今や全国的なトレンドに。おいしさに加え、種類の豊富さ、他にはないオリジナリティもその魅力です。この機会にぜひ、本場名古屋で「名古屋めし」をご賞味ください。



名古屋コーチン

日本3大地鶏の一つ「名古屋コーチン」は、赤みを帯びた肉に適度に香りの良い脂肪で歯ごたえがよく、コクのある味が特徴です。「ひきずり」と呼ばれるすき焼き、たたき、霜降り、鍋、親子丼から名古屋めしの一つ手羽先まで、多彩な食べ方ができ、それぞれちがった名古屋コーチンが堪能できます。



ひつまぶし

「ひつまぶし」は、うなぎ生産大国、愛知が生んだ「1回で3度おいしい」うなぎ料理。1杯目はそのままうなぎ本来の味わいを楽しみ、2杯目はわさびやネギ、のりなどの薬味をきかせて味にアクセントを加え、3杯目は、お茶漬けであっさりいただけます。蒲焼きは関西風の直焼きなので、パリッとした焼き加減が薬味やお茶漬けによく合います。



味噌かつ

「赤味噌ダレ」と「トンカツ」が合体した、コラボレーション文化の名古屋を象徴する名古屋めし。元々は、屋台で「どて煮」（ホルモンを赤味噌で味付けた煮込み料理）のつゆに串カツをつけて食べたことが始まりといわれており、甘辛い味噌だれは意外にくせがなくマイルドで、丼ぶりで味わえる「味噌かつ丼」も人気があります。



手羽先

「うまい・安い・早い」居酒屋料理として、全国に進出著しい名古屋名物「手羽先」。衣はつけず、軽く下味をつけて素揚げし、甘辛いタレとコショウ、ごまをかけるだけのシンプルさが身上。程よいスパイスさが後をひくおいしさで、特にビールとは相性抜群! デパ地下にもテイクアウト専門店が出店しているので、お土産としても人気があります。